

## 1. 本園の教育目標

「よくあそぶ子」、「よくがんばる子」、「よくかんがえる子」という三本柱を保育の中心に置き、主体的に活動できる子を育てる
---

## 2. 2023年度 重点的に取り組む目標・計画

<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども一人ひとりの成長に合わせて、長期的な見通しをもって保育内容を工夫する（保育の計画性）</li> <li>・子どもたちが健康的に過ごせる保育を提供する（保育のあり方・幼児への対応）</li> <li>・保育理念をよく味わい自己研鑽に励む（資質や能力・適性）</li> <li>・ホームページや掲示を活用するなど、園での保育教育内容を保護者に知ってもらえるよう工夫する（保護者への対応）</li> <li>・関係機関との関係性を強化する（地域へのかかわり）</li> <li>・リモート研修や外部研修のほか、園内でも他職員の保育を参観できるように環境を整える（研修と研究）</li> </ul>
--

## 3. 2023年度 教職員の達成及び取り組み状況

保育の計画性	子ども一人ひとりの成長に合わせて、長期的な見通しをもって保育内容を工夫できた	A
保育のあり方 幼児への対応	感染症対策が緩和される中で子どもたちが健康的に過ごせる保育を提供できた	A
資質や能力・適正	保育理念をよく味わい自己研鑽に励むことができた	B
保護者への対応	ホームページや掲示を活用するなど、園での保育教育内容を保護者に知ってもらえるよう工夫できた	B
地域とのかかわり	関係機関との関係性を強化できた	A
研修と研究	リモート研修や外部研修のほか、園内でも他職員の保育を参観できるように環境を整えられた	B

## 4. 2023年度 総合的な評価結果

B	<p>年間で重点的に取り組む内容について、個人での研究研修のほか他の教職員や外部講師陣との検討の結果、概ね適切に保育が行われた</p> <p>職員それぞれが保育内容についても PDCA サイクルを意識してさらなる向上を目指している</p> <p>保育の計画変更について再考が求められる</p> <p>保護者への情報提供も更に伝わりやすくできるように行いたい</p>
---	--

## ◎「3・4」の評価結果の表示方法

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取り組まれているが、成果が十分でない
D	取り組みが不十分である

#### 5. 2023年度 今後の取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
保育の計画性	園の教育理念や全体的な計画について教職員間でもっと話し合い、保育のねらいを押さえて全ての教職員が変更計画に参加する
保育のあり方 幼児への対応	保育実践の共有として子ども一人ひとりに対応した言葉掛け、活動の見守りなど、年間3回以上保育の見学や検討会をとおして学び合う
資質や能力・適正	保育の運営について管理職に年1回以上は評価をもらう
保護者への対応	園での教育保育内容を保護者に見える化できるように工夫する
地域とのかかわり	地域での秋フェスに協力し、区民まつりへのかかわりを考える
研修と研究	長期的な計画の中で子どもの、運動調整力を伸ばす保育内容を研究する

#### 6. 2023年度 学校関係者評価

先生方が子どもの思いやサインを受け止めていただき、一人ひとりについてよく把握して、クラスの枠を超えて見守ってくれるのは心強い
消防署による防火訓練、警察署による防犯訓練、動物に変身して避難する防災ダック訓練、地域清掃クリーン大阪、人と人とを結ぶ紙芝居の会による読み聞かせなど、地域や社会との関わりを経験し、子どもたちも興味深く参加できた
先生方の取り組みを知って長期的な見通しをもった子育てを意識した
臨床心理士による子育て相談や教職員へのアドバイスは地域の子育て支援のみならず円滑に保育をするうえで重要な要素
講師の紹介をしていただき、活動内容や講師の人柄がよくわかった
DADDY-Aの活動は限定的なものの、子どもたちを十分に楽しませた

#### 7. 2023年度 財務状況

公認会計士による監査において、財務状況が適正であることについて評価を受けております。
--